

令和5年度(2023年度)学校関係者評価書

本年度の重点目標

学校名 北海道登別明日中等教育学校

組織名 学校評議員会

評価者
学校評議員 5名
(保護者1名含む)

- (1)個性や能力の伸長に向けた、きめ細やかな学習指導の充実
- (2)生徒の多様化に対応し、健康・安全教育や教育相談活動の充実
- (3)地域と保護者との連携を重視した教育活動の充実
- (4)国際理解・グローバル教育、外国語教育などを通し、外国語(英語)による思考力・判断力・表現力の育成
- (5)6年間を見通した計画的な進路指導の充実
- (6)年齢の異なった生徒による相互交流とボランティア活動、自然体験活動、芸術鑑賞等、異年齢集団による活動や本物に触れる活動の重視

重点目標の適切さ
今年度の重点目標は適切であると判断する。引き続き、「生徒を主語に」を大切にし、自己肯定感をもてるように一人一人の好奇心を引き出す教育活動を希む。

自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等	達成状況	取組の適切さ	今後の改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ	取組の適切さ	今後の改善の方策の適切さ
教務部	学習指導	1 シラバスを適切に運用し、授業の進度や難易度は適切であったか。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○次年度において重点的に取り組むべき課題 <ul style="list-style-type: none"> ①「評価のフィードバック」・単元等の評価結果を周知し、学習改善につなげていくサイクルの確立 ②「シラバス活用」「評価シート」等の工夫 ③「教科等横断的(探究的な学び)」・各期、各年次における到達目標等についての精査とスクール・ポリシーをもとに可視化を図る。 ④単元配列表の可視化 ⑤「探究-総合」としてだけ扱えるのではなく、教科・科目の授業においても情報収集・レポート・発表・討論など「知識活用」「思考・表現」の場面を意図的に実施していく必要がある。 ⑥「ICT端末の活用」 <ul style="list-style-type: none"> 「生徒心育と指導場面」に置く「毎日持ち帰りを」を基本的なスタンズとする。 「持ち帰りに伴う課題等」に対して議論を重ねて改善を図っていく。 ⑦教育課程については、各種アンケートや学校評価の結果など、エビデンスに基づきながら、本校の目指す教育を引き続き検討していく。 	A	A	A
		2 生徒の学習意欲を喚起させるような方策を立て、実践しているか。	B	A				
		3 クロムブック等ICT機器を活用し、個別・協働的な学習指導を実践しているか。	A	A				
		4 身に付けさせたい資質・能力に基づき、きめ細やかな学習指導・評価の充実に努めているか。	B	A				
		5 国際理解教育や外国語教育などを通し、実践的なコミュニケーション能力や語学力の育成を行っているか。	B	A				
		6 異年齢集団による教育活動(行事や部活動等)の充実に努めているか。	B	B				
		7 授業評価の内容および実施は、教職員の資質等を向上させるものであったか。	B	A				
		8 校内研修を計画的かつ定期的に実施しているか。(研修を生かした教育活動を工夫しているか。)	B	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器活用による個別・協働的な学習指導を含め、教科等横断的(探究的な学び)のより一層の充実を期待する。 ・「国際理解教育や外国語教育などを通し、実践的なコミュニケーション能力や語学力の育成を行っているか」「異年齢集団による教育活動の充実に努めているか」の項目について、生徒・保護者は高く評価しているが、教員はまだ出来る、現在は不足気味と認識しているように思われる。 							
	生徒指導部	生徒指導	9 生徒指導体制が確立され、状況に応じて組織的に対応しているか。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒指導に関する教職員全体への情報共有の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ・データ化して閲覧できるよう工夫する。 ○生徒指導部によるインシニアブ 「生徒心育と指導場面」について次年度に向け整理する ・生徒指導部より等を活用し、年次指導に生かす。 ○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・自発的に相談し思いやりの心で対応を行う。 ○文化祭・体育祭の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の自主性を大切にしつつも、活動での成長を見過した教員側のサポートも必要がある。 ○いじめの予防的取組 <ul style="list-style-type: none"> ・SOSの出し方授業の実施や生徒との面談等を通し、初期段階からの丁寧な対応の重要性を共有する。 	B	B
10 発達段階や集団の構成に応じた望ましい生徒集団の育成に努める活動を展開しているか。			B	A				
11 基本的な生活習慣を確立させるための指導を行っているか。			B	B				
12 望ましい規範意識の育成につながる自律心を育む指導を行っているか。			B	B				
13 教育相談体制が整備され、計画的かつ状況に応じた活動を行っているか。			B	A				
14 いじめや学校不適応生徒への取組や、予防的な取組が適切に実施されているか。			B	A				
15 生徒の自治的な活動を充実させる取組が適切に実施されているか。			B	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員全体への情報共有の方法の工夫、いじめの予防的取組、SOSの出し方授業の実施、生徒心育の改善など、生徒指導の充実を期待する。 ・いじめや学校不適応への取組に関しては、生徒は高く評価している一方、保護者への周知不足があるので、可能な限り保護者に周知を工夫すべきである。 							
	進路指導部	進路指導	16 6年間を見通した進路指導体制を確立し、希望進路実現に向けた組織的な指導を行っているか。	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○6年生のセミナー受講者数 <ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間で最も少なかったため、次年度は、セミナーの実施方法を改善する。 ○6年生セミナーの基本実施方針 <ul style="list-style-type: none"> ・原則として曜日固定で行うこととし、実施回数できるだけ均等にするために一部増日を変更しながら実施する。 	A	A
17 早期に自己理解を促し、生徒が主体的に進路選択できるように、計画的で系統的な進路指導を行っているか。			B	A				
18 十分な進路情報の提供を行い、学校・生徒・保護者が一体となった指導を進めているか。			B	B				
19 効果的な進路指導法の研究を行い、全教職員の指導力向上を図ることに努めているか。			B	B				
20 進路相談体制を整備し、進路相談の充実を図っているか。			B	A				
21 セミナーやスタディサプリ、模擬試験等を計画的に実施し、生徒の学習を支援しているか。			B	B				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒や保護者の満足度が高く、生徒の進路実現、自己実現につながっているものと感じる。継続して欲しい。 ・進路指導においては早期の自己理解と主体的な進路選択、系統的な進路指導またはそれらを6年間の見通しを立てて実現に向けていくことは非常に難しいと思われるが、生徒・保護者は高く評価されていることに自信を持って良い。 							
	生徒指導部	保健・安全	22 教職員及び生徒の安全対応能力の向上を図るための取組(交通安全指導・避難訓練等)が行われているか。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・災害における「想定内の訓練」は実施しているが、想定外の事態(津波、地震、火災以外)に対応できる訓練を検討する。 	A	A
23 日常の健康観察や疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組を行っているか。			B	B				
24 生命を尊重し、思いやりの心を育む指導を推進しているか。			B	A				
25 校内支援体制が整備されているか。(教育相談、校内委員会、特別支援教育コーディネーター、校内研修等)			A	A				
評価者の意見等			<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練だけではなく、熱中症対策や感染症対策など危機管理マニュアルの見直しを継続しながら進めて欲しい。 ・大型地震などで学校目の地滑り、ダムの崩壊など、学校BCPの側面からも検討が必要である。 					
	対外・総務	組織・運営	26 各種行事等におけるPTAとの連絡調整が図られ、適切な運営に努めているか。	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○寄宿舎に対する教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・各務部による面談とSCによる面談で対応してきた。 ○寄宿舎の生徒総会 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、2回実施した。生徒自身に完全学習の意義、望ましい学習環境、クロムブックの使用の仕方等について見直す機会を持たせる。 ・学習環境の整備のためのガイドラインを見直し、生徒・教員に共有する機会を持つ。 	B	B
27 校外の関係諸団体と連絡・調整が図られ、行事等の適切な運営が行われているか。			B	A				
28 学校評価を軸としたPDCAサイクルが確立されているか。			B	B				
29 本校の教育活動を広く伝えるため、広報活動等の改善を行っているか。			B	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ以外の広報活動にも期待したい。 							
	各務部	寄宿舎	30 生活習慣を確立し、異年齢交流を活かした寄宿舎生同士の良好な人間関係の構築に努めているか。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○寄宿舎に対する教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・各務部による面談とSCによる面談で対応してきた。 ○寄宿舎の生徒総会 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度、2回実施した。生徒自身に完全学習の意義、望ましい学習環境、クロムブックの使用の仕方等について見直す機会を持たせる。 ・学習環境の整備のためのガイドラインを見直し、生徒・教員に共有する機会を持つ。 	A	A
31 主体的に生活改善する姿勢の育成のため、各回生のリーダーやエリアリーダーを中心とした組織運営を行っているか。			B	B				
32 HR担任や宿直担当、スクールカウンセラーと連携して教育相談を効果的に実施しているか。			B	A				
33 回生に応じた学習環境の整備と、学習意欲の向上を図っているか。			B	B				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流を活かし、生徒間交流が良好であると評価されており、寄宿舎の組織的な運営においても、各回生リーダーが中心となって主体的に生活改善し、SCとの連携等がなされている。 ・遠方の生徒はなかなか帰省しなくては出来ない環境にあるので、引き続き保護者が安心し、子どもたちも自己実現できるように指導をお願いする。 							
	その他	経営方針等	34 道内唯一の道立中等教育学校として、ここしかできない教育を探究できているか。	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○本校が目指す教育について <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者の意見を踏まえながら、生徒の自己肯定感、自己肯定感を育てるために、普段から教職員がどのような心持ちで取り組んでいるかが大切である。 ・特色を出さずするための便利なツールはない。「本校の学び」として身に付けさせる資質能力を日々の教育実践として積み重ねていくことが大切である。 	B	B
35 研究指定での成果を教育活動に応用しているか。			B	B				
36 校内研修日の完全下校を実施し、研修に努めやすい環境整備をしているか。			B	A				
評価者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す18歳の姿を教職員が意識して、身に付けさせる資質・能力を育むために、特色ある教育実践を大切にしたい。 							
	37 完全退勤日や部活動休止日の設定など、勤務時間短縮に向けた取組がなされたか。	B	B					